

ヘビイソギンチャク

分類: イソギンチャク目 ウメボシイソギンチャク科 (花虫綱 六放サンゴ亜綱)

学名: *Anemonea sulcata*

英名: Purple-tipped anemone

大西洋温帯海域から地中海及びカリブ海にかけての岩石や礫の多い浅海底に分布し、フランス地中海では普通に見られる。単独性で群体をつくらない。固い骨格を全くもたない肉質の単一のポリプからできている。筋肉の良く発達した足盤が岩石等に付着するが固着することはない。上部背面は口が開き、その口の周りには触手が長さ15cmで、その数は最も多いもので200本もあるものもある。他のイソギンチャクの触手は収縮するが本種は収縮しない。外からの刺激で棘胞を棘すが、痛みを感じる程ではない。地中海沿岸地方では食用にされていると言われる。



オオイボイソギンチャク

分類: イソギンチャク目 ウメボシイソギンチャク科 (花虫綱 六放サンゴ亜綱)

学名: *Tealia felina*

英名: Warty anemone

北海道から千島、北アメリカ、北ヨーロッパの沿岸の干潮線から水深80m位迄の岩礁地帯に広く分布する寒流系の種属である。口盤の直径約10cm、体高は太く短いズングリ形である。体側には大きなイボがあって上方に行くほど密生する。体側に小石や貝殻などの付着していることがある。体壁は赤褐色の横縞があって、口盤と触手は赤紫色や暗緑灰色で、触手には白い斑点や縞模様が見られることもある。口盤よりよく筋肉の発達した足盤上部は大きい。



オオイボイソギンチャクの一種 *Burodosoma granulifera*

